

1. 期待通りの人財を安定的に確保する為に

今月号で今年4回目のホットレターです。私の主要なフィールドは経営コンサルタント業です。中小企業経営者や管理監督の役職にある幹部社員へ助言等を行うことで、会社を大きく成長させ、関係する全ての人達に幸福になって欲しいと願って仕事をしています。

「会社の成長」と書きましたが、「**会社の成長には2つの軸がしっかりと整ってなければなりません。1つは資産活用であり、もう1つは人財の調達と育成です。**資産に関しては、所有ではなくリース・賃借という方法もあります。もう1つの人財は、外注や派遣等の外部人財の活用という方法があります。しかし、会社を安定的かつ長期的に成長させようとすると、**社内人財の確保と研修による質的向上に努めることが、とても重要です。**

そこで、仕事を求めて求職活動をしている人に対し、自社の情報を正しく伝え、就職検討先の1つに自社を加えてもらわないといけません。会社情報をどこにいるかも分からない就職希望者にどのように伝えていくのか、その広報手法も熟慮しなければなりません。とは言え、**就職希望者がどのような選り好みをもって会社を選んでいくのか**を知っておくのは、「彼を知り己を知れば百戦して殆うからず」の孫子の兵法のとおり、良い人財の確保の上で、必須の制約条件だと言えます。

求職者が会社を選択する理由を厚労省が毎年発行する厚生労働白書で調べましたが、適当な資料がありません。ネットで調べたところ、調査年は2015年と少々古いのですが、期待通りのデータが公開されていました。

休職者が会社を決めた理由の一番に上げたのは、「**職種・仕事内容に興味を感じた**」で34%の回答率です。第2位は「**仕事の経験が活かせる**」で24%です(年代別の回答率では、仕事経験の多少による影響が見られ、20代の回答率は12%と低く、年齢が上がるほど比率はUP)。第3位は「**業界に興味を感じた**」で23%、4位は「**自分のスキルや資格が活かせる**」で20%でした。5位は「**労働環境や休日等の勤務条件**」で14%と20%を割っています。「給料に関心がないの？」との声が上がってきそうですが、6位にランクされ12%の回答率でした。「**会社が安定している**」の回答率は12%です。

現在でも志望動機の上位回答項目に大きな変化はないと思います。**これらの情報を読み取って、平易な言葉で自社を売り込んでいきたい**ものです。令和4年度の大卒者採用活動は序盤戦を過ぎ中盤での争いになってきていますが、まだ時間は十分にあります。会社の成長を盤石にする為に、良質な人財確保は必須です。**HPでの情報発信(先輩の声等)、Zoom等非対面での面接、来社時の感動的な応対、お礼mailの送信、イベントへの参加促し等々、就職希望者の心を熱くする手立て**を講じましょう。単に前年の採用ツールを少し変えただけでは不十分です。日々「本当にこのやり方で必要な人財が確保できるのか」と自問自答を繰り返して下さい。そして、**少しずつでもツールのバージョンUP**を行いたいものです。

2. 新入社員との付き合い方、育て方

本当に「人を育てるのは難しい」です。**特に今どきの若者は「叱られることに慣れていません」。自分が発する言葉の重さも理解できていません。**小学校高学年になった頃にスマートフォンが登場し、スマホで友達を作り交友することが当たり前となって社会人となりました。

SNSで「いいね!」をもらうことで自分の存在感を示す。今はそのような時代です。電話を使った会話ではなく、(絵)文字で、写真で自身の感情表現をします。スマホへ投稿した絵文字等は、その時の素直な感情表現ではありますが、「相手が読んだらどう思うか」と思慮を重ねた上での投稿ではありません。「ありのままの」表現が相手を傷つけるということを知らないのです。**日本語には謙遜語や敬語など他者を敬い、他者との関係を良好に保ちたいという表現方法があります。それら日本語のもつ良さを今の若人は失ってきたように思います。**

このような気質を持つ新入社員が今年も会社に入ってきました。「いいね!」と褒められることしか経験したことのない新人。最初からダメ出しは禁物です。**まずは日本人として、また社会人としての基本的なマナーを教えてあげましょう。これらの基礎は野菜作りに言えば土壌作りに同じです。**美味しい野菜を作るためには、良い土壌が必要です。土壌作りを適切にし、野菜の育ちが悪い時に余分な追肥や薬剤を散布する。このようなやり方では美味しい野菜はできません。人づくりには時間が係ります。しかしこれを疎かにしては早晩退社へまっしぐらです。先を考えて基礎作りから始めましょう。

3. 「運をつかむ」を考える

「自分は幸運だ。運に恵まれている」と思う時もあるれば、「不運だ。ツキがない」と落胆する時もあります。運命という熟語がありますが、「**運命は自分の力で変えることができる**」のです。しかし運命と同義語的に捉えられる宿命は「**変えることは出来ない**」とも言います。

人生は一度きり!、この事実は誰一人として変えることはできません。横綱白鵬と歌手の松山千春とが対談し、松山千春が「**運とは軍を走らせると書く。戦わぬと運は来ぬ!**」と語ったとある本にありました。早速、部首の“しんにゅう”を調べてみました。“しんにゅう”には「進む」「走る」の意味があるそうです。

松山千春の言うとおおり、運を掴むには戦う姿勢が必要なんですね。「果報は寝て待て」と時期が来るのを待っておこうと考えているようでは、幸運は自分の手からずるりと逃げ落ちてしまうのです。

経営戦略の1分野に競争戦略があります。「同業・異業他社に勝つ」「お客様の支持を得る」「自社(経営者自身。社員)の怠惰な風土に克つ」。勝ち方には色々なパターンがありますが、「**前進する」「挑戦する」「戦いを挑む」「諦めない**」等の強かつ固い**意思は、必ず「幸運を自分の手で掴み取る結果へと繋がるのです。これを世間では必勝パターン**と言っているのです。